

## 第 24 回 2025 中国女子サッカーリーグ 実施要項

### 1. 趣旨

このリーグは、中国地域の女子サッカーの技術向上と健全な心身の育成を図り、広く女子サッカーの普及振興に寄与することを目的とし、長期に渡るリーグ戦を実施する。

### 2. 名称

中国女子サッカーリーグ

### 3. 主催

一般社団法人 中国サッカー協会

### 4. 主管

一般社団法人 島根県サッカー協会  
一般財団法人 鳥取県サッカー協会  
一般財団法人 岡山県サッカー協会  
公益財団法人 広島県サッカー協会  
一般社団法人 山口県サッカー協会

### 5. 後援

公益財団法人 日本サッカー協会

### 6. 期間

2025 年 4 月～11 月

### 7. 会場

各地域の会場(原則天然芝、もしくは人工芝のピッチ)を使用すること。

### 8. 本リーグは無料試合とする

### 9. 本リーグの組み合わせは、リーグ運営委員会にて決まり次第決定し、発表する。

### 10. 参加資格

- (1)本協会に「女子」の種別で登録した加盟登録チームであること。
- (2)参加申込み時、最低 11 名の選手登録があること。
- (3)中学生以上の選手であること。ただし、当該年度に満 16 歳以上の選手が過半数を占めていること。  
※中国女子 U-15 サッカーリーグ(以下「U15 リーグ」という)設立趣旨を鑑みると、中学生が主体となるチームが本リーグに参加することは望ましくない。
- (4)本リーグと U18 及び U15 リーグ(以下「下位リーグ」という)との選手、監督、運営責任者の重複登録は認めない。選手登録の確認は、年度当初のプログラムにて確認する。
- (5)登録選手証は、試合会場に登録選手一覧表又は電子登録証(写真付き)を持参しない選手は試合に出場出来ない。
- (6)選手登録期限は、次の通りとする。  
8 月 29 日(金) 17 時
- (7)登録は毎年指定期日を以って行い翌年 3 月 31 日まで有効とする。
- (8)前項の資格を有する選手の登録人数は制限されない。外国籍選手は 5 名まで登録でき、1 試合 3 名

まで出場できる。また、中学生選手は、試合中 3 名までしか同時にプレーすることができない。また、クラブ申請制度により出場する選手は、試合中 5 名までしか同時にプレーすることができない。

(10)選手、スタッフの追加登録は、次の通りとする。

追加登録は試合が行われる週の月曜日 17 時まで、所定の書式により、追加登録申請書、大会登録票、メンバー表、選手証をメールにて事務局まで提出を完了すること。

役員は 10 名まで登録することができる。ただし当日ベンチに入れる役員は 6 名までとする。

(11)クラブ申請制度の適用

JFAにより「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームは、同一「クラブ」内から、移籍することなく試合に参加出来る。この場合同一「クラブ」内のチームであれば、複数のチームから選手を参加させることも可能とする。

本リーグより下位リーグに登録されている選手の出場は可能であるが、

上位リーグ(なでしこリーグ 1 部、2 部)に登録されている選手は移籍手続きを踏まないと出場出来ない。

#### 11. 本リーグのチーム参加申し込みとその期限は次の通りとする。

参加するチームは、所定の書式により、大会登録票、メンバー表をメールにて事務局まで申込みを行うものとする。また、KICK OFF システムへ登録した選手の選手証を合わせて送付すること。

(令和 7 年 3 月 14 日(金) 17 時まで)

#### 12. 参加料 30,000 円

2025 年 3 月 7 日(金)までに、下記口座に振り込む

株式会社ゆうちょ銀行 記号 15160 番号 60218601 一般社団法人 中国サッカー協会  
他金融機関から振込の場合

【店名】五一八(ゴイチハチ) 【店番】518 【預金種目】普通預金 【口座番号】6021860

#### 13. 参加チームとその数

10 チームで実施する。

吉備国際大学 Charme 岡山高梁 Defi(岡山県)

レノファ山口 FC レディース(山口県)

周南公立大学 Vinculum(山口県)

SolfioreFC 作陽(岡山県)

広島経済大学(広島県)

広島文教大学(広島県)

スフィーダ備後府中 FC(広島県)

岩国エンジェルス(山口県)

広島大学(広島県)

SRC 広島レディース(広島県)

#### 14. 競技方法

(1)大会実施年度の公益財団法人日本サッカー協会制定の競技規則による。

(2)10 チームによる 1 回戦総当りの前期リーグ戦を実施し、

その順位により後期 2 部リーグ制 1 回戦総当たりを実施する。

(3)順位決定については、以下で決定する。

※前期リーグの勝点・得失点等は後期リーグへ持ち越すが、

上位リーグ・下位リーグ間での順位の入替は行わない。

①勝点は、勝ち=3 点、引分け=1 点、負け=0 点とし、勝点の多い方を上位とする。

②得失点差

③総得点差

④当該チーム内の対戦成績

⑤下記に基づくポイント合計がより少ないチーム

- (ア)警告 1 回 1 ポイント
- (イ)警告 2 回による退場 1 回 3 ポイント
- (ウ)退場 1 回 3 ポイント
- (エ)警告 1 回に続く退場 1 回 4 ポイント

⑥上記①～⑤でも同じ場合は、抽選により決定する。

(4)試合時間:90分(前・後半 45分)

(5)ハーフタイムのインターバル:原則 15分(前半終了から後半開始まで)

(6)競技者の数

競技者の数:11名

交代要員の数:7名以内

ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数:3名以内

ピッチ上でプレーできる中学生選手の数:3名以内

ピッチ上でプレーできるクラブ申請制度により出場する選手の数:5名以内

(7)競技者の交代

I 試合中の選手の交代は、次のとおりとする。

①選手の交代人数は、5名以内とする。

②選手の交代回数は、1試合合計3回以内(ただし、ハーフタイムを除く)とする。

II 脳振盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは、次の通りとする。

①脳振盪またはその疑いのある選手の交代(以下「脳振盪交代」という)は、通常交代に含まれない。

②発生した脳振盪またはその疑いのある選手の人数にかかわらず、1試合において各チームが得られる脳振盪交代の交代人数の上限は1名、交代回数の上限は1回とする。

③脳振盪交代をした場合、相手チームは通常交代とは別に、交代人数1名、交代回数1回を追加で行うことができる(以下、本号に基づく交代を「追加交代」という)。

④1試合において各チームが行える追加交代の交代人数の上限は1名、交代回数の上限は1回とする。なお、追加交代は、理由如何を問わず使用できる。

⑤脳振盪交代及び追加交代は、通常交代と異なる交代であると判別できる手続きで行われなければならない。脳振盪交代及び追加交代に使用する交代用紙は、それぞれに通常交代で使用する交代用紙とは異なる色の用紙を用いて、主審/第4の審判員に通知する。第4の審判員は脳振盪交代及び追加交代が行われた直後に、相手チームにその旨を通知する。

⑥脳振盪交代、追加交代および通常交代のうち2種類以上の交代を同時に行った場合、それぞれの種類の交代につき、1回ずつ交代したものとみなす。

(8)役員の数

テクニカルエリアに入ることができる役員の数:6名以内

(9)ユニフォーム

①本協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。

②Jクラブ傘下のチームについては、公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。

また、日本女子サッカーリーグ傘下のチームについては、一般社団法人日本女子サッカーリーグのユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。

ただし一部でも仕様が異なる場合は認められない。

この際、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得ない場合、審判員用のカラーシャツを複数色、チームで準備出来る場合のみ使用を認められる。

③ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書の際に記載し、各試合に必ず携行すること(FP・GK用共)。本協会に登録されたものを原則とする。

④シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。

ショーツの選手番号については、つけることが望ましい。

⑤ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。

⑥ユニフォームへの広告表示については公益財団法人日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。

(9)試合球は各チームが2球ずつ持参し、計4球用意して行う。

(10)その他

①第4の審判員の任命:行う

負傷者の対応:主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。

②暑熱下において、熱中症対策として Cooling Break または、飲水タイムを採用する。

WBGT 値を参考に、マッチコーディネーションミーティングにて双方または審判団と協議の上、決定する。  
実施の場合は、原則は前後半1回ずつとする。

15. 懲罰

(1)本大会は、本協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。

(2)大会規律委員会の委員長は中国サッカー協会規律裁定女子委員長とし、委員については委員長が決定する。中国女子委員長が副委員長を務める。

(3)本大会期間中に警告を3回受けた選手は、次の1試合に出場できない。

(4)本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。

(5)本実施要項に記載事項にない懲罰に関する事項は、大会規律委員会にて決定する。

16. 入れ替え

(1)9位は、地域リーグ参入戦2チームと入れ替え戦を行い、勝利したチームが残留又は昇格する。

(2)10位は、県リーグへ自動降格とする。

(3)なでしこリーグからの降格も考慮し、降格チーム数を決定する。  
決定する場合は、関連リーグの順位決定後となる。

(4)地域リーグ参入戦の実施方法は、別途定める。

17. 表彰

リーグ優勝チームには、トロフィーと表彰状を授与する。

18. 試合開始時間

いずれか一方のチームが試合開始時間に遅れた場合、相手チームは試合ができる範囲で可能な限り待機しなければならない。最終判断は、リーグ運営委員会(委員長)の判断によるものとする。

19. その他

(1)試合の中止・中断の決定について

①試合の中止・中断の決定については、会場責任者及び当該試合の主審と協議の上、決定する。

その後の処置については、大会実行委員会において協議の上、決定する。

②後半20分終了後、中止された場合は、その時点のスコアで試合成立とする。

③一方の責任により中止となった場合は、帰責事由のあるチームを0対3の負けとする。

(2)本要項に規定されていない事項については、リーグ運営委員会(委員長)において協議の上、決定する。

(3)参加チームは、KICK OFFより出力した選手証・登録選手一覧表を印刷したもの(カラー印刷)を持参。

顔写真がないものは不可。不携帯の選手は当該試合への出場を認めない。

またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを認めるが、会場の環境によっては表示できない場合もあるので印刷したものが望ましい。

(4)マッチコーディネーションミーティング:試合70分前に行う。

チームは、正副のユニフォームを準備すること。

(5)メンバー提出用紙:マッチコーディネーションミーティング時に、

大会登録票、出場選手の選手証と共に運営担当者に4部提出する。

(6)リーグ規定に違反し、その他不都合な行為のあったときは、そのチームの出場を停止する。

(7)審判については次の通りとする。

- ①大会事務局は、中国審判委員会に審判の派遣を依頼する。
- ②運営チーム(会場チーム)は、各県の審判委員会へ主審の派遣を依頼する。
- ③原則として、主審は3級以上、副審は4級以上(ユース審判可)とする。
- ④運営チーム(ホーム扱いのチーム)は、2試合開催を原則とした場合、  
自チームの試合以外の試合において、第4審判、記録員、副審を1名選出する。
- ⑤アウェイ扱いのチームは自チームの試合以外の試合において、副審を1名選出する。  
※副審の選出については開催チームと協議の上、柔軟に対応してもよい。

(8)シーズン中の日程変更規定について、原則下記に該当する場合のみ承認される。

(前例のないケースにおいては、事務局と中国女子委員長と別途協議の上、決定。)

- ①天候等(チームに責のない形で試合開催が不可能となった場合)
- ②上位大会への出場(インカレ・皇后杯・なでしこリーグ参入戦等)
- ③下位のリーグ戦は考慮せず、全国大会に繋がる予選は考慮する(U-18カテゴリーは除く)

## 20. 問い合わせ先

2025 リーグ実行委員会 事務局

〒731-0192 広島県広島市安佐南区祇園 5-37-1

広島経済大学女子サッカー部 監督 向井祐介

以上